

＜第7回 若林地域会議 会議録＞

日 時 令和7年10月24日（金） 19:00～20:45
場 所 若林交流館 多目的ホール
出席者 委 員 13名
事務局 吉澤支所長、松原副主幹、倉地主査
オブザーバー 太田市議、村中館長

1 会長あいさつ〈省略〉

2 報告事項

（1）第6回若林地域会議会議録について

高岡支所より報告

- ・高岡ファンまつりが開催されたこと。
- ・まちづくりビジョンのグループワーク結果をまとめたこと。
- ・地域会議委員の選考委員会を10月17日に開催されたこと。

（2）高岡ファンまつり出展報告について

高岡支所より報告

- ・9月20日に高岡コミュニティセンター、六鹿会館、高岡運動広場、高岡農村環境改善センターで実施し、延べ1,500人の来場者となった。
- ・高岡支所としてはラリーカーのデモラン、交通安全のステージイベント、体験ブース等を担当。

（3）トヨタ自動車堤工場「堤秋フェスタ 2025」出展報告

高岡支所より報告

- ・高岡支所として令和8年4月に改正される道交法チラシの配布、ラリークリアファイルの配布によるラリー及び交通安全啓発を実施。
- ・イベントの来場者は7,000名。

3 協議事項

（1）若林まちづくりビジョンの改訂

会長より説明

- ・前回のグループワークで3班とも共働と選択した9項目について、地域会議委員全体で共通認識にするため、皆さんのイメージを教えてください。
- ・先月のグループワークで振り分けを考えると出た意見をそのまま伝えてもらえばよい。

【防犯マップの作成】

〈C 班〉警察に協力してもらい、過去の事例で空き巣や自動車の窃盗があった場所にマークをし、危険箇所を把握する。また防犯カメラがどこにあるかなどの情報があっても良い。

〈B 班〉梅坪地区で作成している防犯マップが参考になると思う。人通りが少なく夜間

暗くなるため、痴漢に注意等の情報が掲載されている。

〈A 班〉先月は内容については話し合っていないが、共働にした理由としては地域の人の情報と警察や行政が持っている情報を合わせないとできないということで共働にした。

〈委員〉防犯マップを作ったらどのように活用するかという話し合いはしたか。

〈委員〉話し合っていない。

〈委員〉防犯マップは防災マップ同様、個人宅には配布しない。ここが危ないや、ここでこんな事件があったということを公にはできない。そしたらどのように活用するのか。

〈委員〉地図のようなはっきりしたものではなく、こういう場所は危険という曖昧な表現にするしかないのではないか。

〈委員〉梅坪地区の防犯マップを見ると、ここで何かが起きたではなく、起きるかもしれないというニュアンスになっている。具体的にしなくても、そういう中身のもので良いのではないか。また、危険箇所と言ってもそこを通らざるを得ない人がいるため、整備されているから通った方が良いという道を掲載してはどうか。

〈委員〉とても良い意見だと思う。

〈委員〉見たい人のために作成することが大事だと思う。

〈委員〉防犯マップは弱者に対しての啓蒙になると思うので、小中学生が見れるようにすればよい。全員に配ってもおそらく見る人は少ないため。

【他地域の取り組みを調べる、視察する、マネする】

〈C 班〉情報がないため、行政からこういう取り組みがあるよというように紹介してもらいながら、地域にどう落とし込んでいくかというレベルの話。

〈委員〉必要な知識とか技能とはなにか。

〈C 班〉それはわからない。個別の目標があり、それに対して何をするかで必要な技能や知識は変わるため、まずは目標を定めて結びつかせていくしかやりようがないと思う。

〈委員〉区長として必要な知識や技能はなにか。

〈委員〉質問が漠然としているため答えられない。

〈委員〉地域を支える人材作りという視点で見たときに、必要な知識や技能とはなにか。例えば、お助け隊では草刈りができることとなっている。理由としては木の伐採等が非常に多いため。

〈委員〉共働に選んだ理由は地域だけでも行政だけでもできないという理由から消去法で共働にした。参考として、社会福祉大学の修了証の名簿をもらった。地域の活動に積極的である可能性があるため、民生委員の話をしてはどうかというもの。そのように市役所が許可を得て、自治区に教えてもらえるなら地域の人がこんな資格を取ったということがわかるので、共働でやっていけるのではないかなと思う。

〈委員〉個人情報なので掘り出しにくい状況ではある。

〈委員〉なので資格を取るときに事前に確認をしてもらって、本人の了承を得る必要がある。資格を持っていても埋もれてしまい、次のステップに行かなくなっている現状がある。性善説的な話にはなるが、資格を取るような積極的な人であればお願いしたときに受けてもらえる可能性が高いと思う。

〈事務局〉4 地域合同事業の自主防災サポーター養成講座を高岡支所は主催している。令和6年度の実施の際は、アンケートの項目に来年度補助員として参加してくれますかというものを設けていた。ただ、その講座を受けた後に地域でどう活躍するかというものがなかったため、令和7年度のアンケートでは、自治区に情報提供してもよいかという項目を設けようと思う。

【福祉施設と共働でオープンイベントの開催、障がい者施設のイベント参加（イベント周知）、不自由を体験する】

〈委員〉コロナ以降、高齢者施設はオープンに人を呼ぶようなイベントをしていない。

〈委員〉民生委員にもハートランド等のお祭りの情報は来るが、一緒になにかやりましょうではなく、良かったら来てねという程度。

〈委員〉民生委員がそれでは、一般の人が参加するのは難しそう。

〈委員〉ジョイナスもハートランドも参加はできる。施設で作ったものを売っているので、そういうのに参加するだけでも違うと思う。

〈委員〉区民は来ているのか。

〈委員〉お祭りに関しては結構来ている。また明日のジョイナスのイベントにはNHK名古屋の気象予報士の土井さんが来る。

〈委員〉そういった情報をもっと区民に流せばよい。

〈委員〉自治区回覧は回しているが、熱心に読む人は少ない。

〈委員〉ヘルプマークを周知するというのはどうか。それを付けている人は何か困っている可能性がある、もしくは何か行動を起こす可能性があるというのを認識している状態にするのが大事だと思う。

〈委員〉不自由を体験するという点はどうか。

〈委員〉防災訓練で不自由がある人をどう運べばいいか訓練することは大事だと思う。また、高齢者の交通安全教室に行くと、高齢者の視野や歩き方を体験できるので、そういった体験は良い。

【逢妻男川に鮎を放つ】

〈委員〉昔は鮎がいたが全部食べられたと聞いた。

〈委員〉鯉や亀が食べるのではないか。

〈委員〉今の川の環境で鮎は育つのか。

〈委員〉おそらく育たない。

〈委員〉そもそも鮎を放つことが環境保全になるのか。

〈委員〉鮎が育つ川であるということを環境委員は言いたい。

〈委員〉外来種の亀が多いため、食べられてしまう。

〈委員〉亀を駆除してからでないとダメではないか。

〈委員〉追い付かないと思う。上流にいたら再度繁殖してしまう。

〈委員〉スッポンはいないのか。

〈委員〉スッポンもいる。

〈委員〉鮎が育つかどうか環境委員会に聞いてみるしかない。

【各世代が知っている情報の共有化】

〈委員〉防犯でもスマホの使い方でも、こどもたちは学校で大人が知らないことも学んでくる。ただ、こどもと接点がない人はそういった新しい知識を得る機会がないのではないか。

〈委員〉世代間を超えて話し合いができる場はどのように作ればよいのか。

〈委員〉ジュニアクラブなどはふれあいまつりにも参加するので、イベントの時には話すタイミングがあるが、イベントが終わってしまえば交流が途絶えてしまう。

【こどもを中心に若林独自のあいさつ言葉を作る、あいさつ標語コンクールの実施】

〈委員〉独自の挨拶運動の意味がよくわからない。普通の挨拶運動ではダメなのか。

〈委員〉挨拶言葉でいうと、新日鉄が「ご安全に」という言葉を使用している。

〈委員〉学校でも挨拶運動はたくさん実施している。

〈委員〉方向性に記載があるが、「気軽に当たり前のようにあいさつできる住民を増やす」とあるようにそれぞれの年代に応じた挨拶言葉の選択肢を増やすというのが良いのではないか。小学生には言いやすい挨拶言葉でも高齢者には言いづらいなんてことが起こると、結局誰も使わない言葉になってしまう。

〈委員〉民生委員は高齢者宅を訪問するときの挨拶があるのか。

〈委員〉特にない。毎回「こんにちは、最近どうですか」という感じ。

〈委員〉朝会ったら「おはよう」でいいではないか。

〈委員〉挨拶言葉を決めたとして、どう PR するのか。

〈委員〉小学校の先生は毎日校門に立って、挨拶をしている。

〈委員〉若林駅の前で高岡中学校の校長先生も挨拶をしている。一度一緒に立ったときに、中学生からは「おはよう」という返事が返ってきた。また、駅を利用する人も全員ではないが、返事を返してくれる人が多かった。たまに会った人に挨拶してもびっくりされて返してもらえないかもしれないが、続けて当たり前にすることが大事だと思う。

〈委員〉朝のウォーキングですれ違う人に挨拶をすると、はじめは黙っている人も多かったが、しつこく声をかけることで多少返ってくるようになった。継続は必要だと思う。

〈委員〉最近は声掛けで不審者情報になっている場合もある。

〈委員〉そういった情報もどんな声掛けをしたかは明記していないのでわからない。

4 その他

(1) 次期地域会議委員の公募チラシについて
高岡支所より説明

(2) 「情報誌クローバー」の配布について
高岡支所より説明

オブザーバーより挨拶

〈村中館長〉

挨拶について、自分の家の前が通学路になっているため、小学生と会うと「おはようございます」と挨拶してくれる。良い街になってきているなという印象があった。次の日曜にふれあいまつりがあるが、天気が不安。ただ、雨が降ろうが開催するので是非参加してほしい。

〈太田市議〉

今日はコロナ前までやっていた還暦の豆まきの段取りをしていた。2月3日の節分の日には若林八幡宮で実施する予定となっている。今年度還暦を迎える人がいれば是非声をかけてほしい。

先月は9月29日から6日間、ベトナムに出張に出ていた。そこでは日本人が経営している人材派遣の会社を視察した。教育がすごくしっかりしており、挨拶、5S、報連相の教育を徹底していた。全員挨拶をしてくれて、話を真剣に聞いてくれるため、すごく良い経験になった。挨拶は国籍が違っててもすごくうれしくなると思うので、今後も地域の中での交流、コミュニケーションを大事にしてもらえればと思う。

★次回開催

第8回定例会：令和7年11月28日（金）午後7時から 場所：若林交流館多目的ホール